

令和4年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	49	学校名	県立島田高等学校	校長名	鈴木 政昭
------	----	-----	----------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
ア	生徒の高いこころざしを育成し希望する進路の実現を図るために、校内研修を推進し家庭学習と連動した質の高い授業を創造する。	<ul style="list-style-type: none"> 予習、授業、復習のサイクルを意識して取り組んだ生徒70%以上 スタディサプリを学力向上のために有効に使えたと感じる生徒80%以上 	【教務】 ・生徒アンケートによると予習、復習のサイクルに取り組んだと答えた生徒は70.6%、スタディサプリを学力向上に活用できたと感じている生徒は78.2%であった。（とてもそう思う17.0%、まあそう思う61.2%）（スタディサプリのアンケートは2/1現在、今後数値を更新予定）	A	<ul style="list-style-type: none"> 予習、復習のサイクルは今後も継続して高い数値を維持できるように指導を続けていきたい。 スタディサプリに関する詳細を見ると、配信課題以外に自主的に利用した生徒が26.0%おり、導入による一定以上の効果は得られたと感じる。自主的な学習が可能なことをさらに周知していきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 授業への主体的な取り組みを意識する生徒70%以上 職員1人2回以上の授業見学 ICT活用に向けてのマニュアルを作成し研修を年2回以上 	【研修】 ・生徒アンケートによると、主体的に授業に取り組めたと答えた生徒は94.8%であった。 <ul style="list-style-type: none"> 授業見学週間で、見学をして提出されたワークシートは各30人ほどで、8割ほどの実施率であった。 職員会議での短時間の研修も含め、年4回の研修を行った。 	B	<ul style="list-style-type: none"> 学年が上がるにしたがって、「主体的に取り組めた」という回答よりも「だいたい主体的に取り組めた」という回答が増加していく傾向にあるので、学年が上がっても主体的に取り組めるように指導していく必要がある。 授業見学をする職員が100%になるような工夫をしていきたい。 来年度から1人1台端末が導入されるので、そのためのサポートをしていきたい。
		<ul style="list-style-type: none"> 土曜補講受講率70%以上 国公立大合格30%以上 進路関係について主体的に考えることができた生徒90%以上 	【進路】 ・土曜補講受講率69.7%（前期73.9% 後期65.6%） <ul style="list-style-type: none"> 総合的な探究の時間などで自分の進路について主体的に考えることができた生徒91% 	A	<ul style="list-style-type: none"> 土曜補講は概ね達成できたが、前期73.9、後期65.6%と減少していることが課題である。実施講座や内容の充実とともに、生徒への積極的な参加を促していきたい。 連関図の積極的な活用を目指し、探究の時間などを利用して、3年間を

		<ul style="list-style-type: none"> ・しまこう学問探究ナビ満足度 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・しまこう学問探究ナビ 進路選択に役立った生徒 96.5% 		<p>見通した進路指導を心掛けていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学問探究ナビは17大学の講座を開講できた。ほとんどの講座で対面での実施ができ、生徒の進路選択に有効であった。
		<ul style="list-style-type: none"> ・年間5回以上の面談実施 ・放課後補講、土曜補講に意欲的に参加できた生徒 80%以上 ・総合的な探究学習の進路関連の時間について、自分の進路について考えることができた生徒 80%以上 	<p>【3年部】・5回以上実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前期放課後 79% 前期土曜 79% 夏期補講 90% 後期放課後 72% 後期土曜 71% <u>平均 78%</u> ・あてはまる 62% やや 29% <u>あわせて 91%※</u> 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・担任の先生の丁寧で細やかな指導が行われていた。保護者には意外と伝わっていない。もっと宣伝すべきだった。 ・補講を希望する生徒は多かったが、欠席する生徒が多く、意欲的に参加できていたかは不明である。学年教科担当でなく教科として授業や補講の計画や実施に責任をもつべき。 ・HR活動や総合的な探究学習の時間等を使い、進路についての適切な情報を計画的に伝えることができた。教員の入れ替わりが激しく、進路指導の共通理解は大切。さらに深めていく必要がある。
		<ul style="list-style-type: none"> ・平日2時間以上、休日3時間以上の学習達成生徒 60%以上 ・課題居残り後未提出 1名以下 ・学年通信発行 12回以上 ・修学旅行で視野が広がる生徒 90%以上 	<p>【2年部】平日2時間以上 20.6% 休日3時間以上 29.3%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常時4～5名いる。 ・12月13日に13号発行 ・78.5% 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・意識の高い者もいれば低い者もいる。時間は有限であるという意識づけが必要。 ・粘り強く指導するしかない。 ・定期的に発行されている。 ・数字以上に生徒の視野は広がった。事前、事後の研修を精選する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・週末課題未提出生徒 10%以内 ・平日2時間以上、休日3時間以上の学習達成生徒 60%以上 ・学年便り年10回以上の発行 	<p>【1年部】・未提出生徒 7.7%</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平日2時間以上、休日3時間以上の学習達成生徒 45.7% ・学年便り10号の発行の見込み 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・未提出や再提出の生徒数は減ったが、主体的に取り組む姿勢をもっと身につけさせたい。 ・いろんな角度から指導・声掛けを継続する。 ・計画的かつ定期的に発行できている。
イ	「人として正しく生きる」ため	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみ検査を各学期1回以上実施 	<p>【生徒】・全学年 3回実施</p>		<p>身だしなみに大きな乱れは見られないが、検査以</p>

様式第3号

	<p>に、自律した生活態度の育成を図り、規範意識を涵養する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車安全指導カード昨年度比半減 	<ul style="list-style-type: none"> ・【4月～1月112件】【昨年281件】 	<p>A</p>	<p>外で日常の指導を充実させたい。学年、学級等で偏りのない指導を目指したい。交通マナーに対する苦情やイエローカードを受け取る生徒は減ったが、決して少ないわけではないので更なる指導が必要である。</p>
		<ul style="list-style-type: none"> ・フォーサイト手帳によるPDCAサイクルを確立させたと回答する生徒80%以上 ・充実した高校生活と実感する生徒80%以上 ・頭髪服装検査時、指導対象の生徒5名以下 	<ul style="list-style-type: none"> ・【3年部】・あてはまる23%やや34% <u>あわせて57%※</u> ・あてはまる61%やや27% <u>あわせて88%※</u> ・年間3回実施 頭髪や服装で指導される生徒は大変少なかった。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りから主体的な学びにつなげる作業をもう少し徹底させたかった。学びの大切さや自らの成長の喜びを体感させる指導支援こそ本校の特色。地道に続けていきたい。 ・コロナ禍の中、学習や部活動、学校行事に積極的に取り組む生徒が多かった。充実していたと考えている生徒が80%以上というアンケート結果は大変ありがたい。 ・当たり前のことを当たり前にできる環境にある集団は、いずれ成長につなげることができる。素直な生徒たちに救われている。 ・低学年次に保護者対象の見込み費用の説明会を実施できるとよい。
		<ul style="list-style-type: none"> ・六月祭など学校行事に主体的に取り組む生徒95%以上 ・服装、頭髪で指導される生徒0 ・イエローカード50枚未満 	<ul style="list-style-type: none"> ・【2年部】 ・82.5% ・身だしなみはOK。 ・1月13日現在43枚(昨年91枚) 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数字以上に主体的に取り組んでいるが、時間をかけて更に向上させる。 ・検査がやりっぱなしになっている。 ・数字ほど良くはない。今後も指導する。
		<ul style="list-style-type: none"> ・8:20昇降口通過者99% ・頭髪服装検査を学期に1回以上実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・【1年部】・8:20昇降口通過はできており、遅刻者はほぼいなかった ・検査を学期に1回実施できた。 	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・よい朝の始まりができています。今後も継続して指導したい。 ・季節ごとの問題があり、指導を継続したい。
<p>ウ</p>	<p>豊かな人間性、国際感覚、他者との良好な関係づくりを身につけ、社会で逞し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1部活1つ以上のボランティア活動実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・【生徒】 ・【運動部】5/12 男子テニス・陸上競技・剣道・野球・サッカー ・【文化部】5/8 	<p>A</p>	<p>コロナ感染の関係で積極的に呼び掛けはできなかったが、20部活の中10部活が実施した。運動部での実施をより増やしていきたい。</p>

様式第3号

	<p>く生き抜く力を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が充実していると答える生徒 85%以上 ・相談できる相手がいる生徒 90%以上 	<p>科学・放送・書道・吹奏楽・家庭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校生活が充実していると答える生徒 85%以上 90% (全生徒) 		<p>コロナ対策を考える中で、学校行事をどのように取り組んでいくかが課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロ対策の中でも可能な限り活動を広げていきたい。 ・日頃からの声掛けと支援アンケートの配信を行う。
エ	<p>適正かつ効率的な予算執行による教育環境の整備や学校運営の効率化をすすめる、生徒・保護者・職員にとって安全で安心な学校づくりを目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全校の年間図書貸出数 2000 冊以上 ・演劇教室に満足した生徒 90%以上 ・地域防災訓練の参加率 60%以上 ・超過勤務時間の前年度比減 ・施設、設備に起因した校内事故の発生件数 0 ・申請書類の期限内提出率 95%以上、差戻し率 5%未満 	<p>【図書】・2月1日時点で図書貸出数は 1,660 冊。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演劇教室は2月16日実施予定。 【総務】 32.0%。COVID19 感染拡大防止のため、積極的な呼びかけをしなかった。 【副校長】職員室の施設平均時間は、20 時(43 分短縮)、超過勤務時間は、36 時間(約 5 時間増)であった。また、45 時間超の教職員は延 138 人(5 人増)、さらに 80 時間超の教職員は延 33 人(1 人減)であった。 【事務部】 ・学校の施設、設備に起因した事故の報告はなかった。 ・申請書類の期限内提出率は 100% 差戻し率 1.4%であった。 	<p>B</p> <p>C</p> <p>C</p> <p>B</p>	<p>昨年度は1月14日時点で 1926 冊の貸出があったので、今年度は昨年比大幅減となる見込みである。また、学校評価アンケートに依れば、学校図書館を有効利用していると答えた生徒の割合が 40.3%と低く、来年度仮設校舎に移り、図書館と校舎がいつそう離れることになり、図書館利用を促進する抜本的対策を講じる必要がある。</p> <p>地域防災訓練がフルで実施され、COVID19 が収束することを祈る。</p> <p>業務改善として業務の適正化、平準化、効率化を進めてきた。職員アンケートからも意識の向上が定着してきている。今後、適切な校内組織の構築による業務改革、業務の細分化による業務量の平準化等を実践し、さらなる時間外超過勤務削減の取り組みを継続していく必要がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な巡回により小規模な施設・設備の不具合には、迅速に対応できた。 ・申請書の期限内提出率、差戻し率とも目標を達成した。 ・学校経営予算は光熱費

		<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営予算の執行率 99.5%以上、外郭団体の予算執行残額 25 万円未満 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営予算の執行率は 99.5% 外郭団体の予算執行残額は 20 万円余りと見込み執行している。 	<p>A</p>	<p>の高騰が厳しい中ではあるが、学校運営に支障のないよう適正な執行ができた。外郭団体予算についても、進路指導や部活動充実のため有効に執行できた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で、施設・設備の修繕箇所の緊急度の見極め、特に大規模改修工事を控えているために、どの程度まで一時的な修繕を行うかの判断が難しい。また、教職員から事後報告とならないような情報収集方法の検討が必要である。 ・申請書類の提出については、さらに差戻し率が減少するよう、記入例や説明等分かりやすいものを提供できるよう検討する。 ・在籍している生徒のために有効な予算執行ができるよう、上半期の執行率を高めるなどの計画的な執行を検討する。
<p>オ</p>	<p>文武両道を実践する進学校としての教育改革・実践を、中学校、家庭、地域等に対して適切に伝えるための広報活動の改善、充実を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度入学者の定員充足 	<p>【入試広報委員会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一日体験入学、オープンスクールについては、年度当初の1年生アンケートから、本校生徒の良さを実感してもらうことに主眼を置き実施した。 ・学校案内は、これまでよりも在校生や卒業生の生の声を多く取り入れ、本校の魅力をアピールした。 ・中学校訪問については、三者面談直前など、タイムリーな訪問時期を選択し、年間2回実施した。 ・在校生と協働でのインスタ開設や動画作成などを通じて、在校 	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・広報活動全体の成果としては、裁量枠 I 段階で昨年度を 20%程上回る志願者数となった。今後、ある程度全体の志願者数が把握できたところで、今年度の広報についての振り返りを行う予定である。 ・在校生との協働による入試広報活動を通じて、在校生が本校の魅力を再発見し、島高生としての誇りと自覚を強めることが出来た。 ・一日体験入学やオープンキャンパスで、業務を適宜、分掌で継続的に担当することを、今後検討する必要がある。(清掃分担割振りは保健課、部活

様式第3号

			生の視点からの広報活動を実施した。		動会場図作成は生徒課など)。
		・ホームページ更新 年間 150 回以上。	【教頭】12月終了時点で138件の発信を行った。今年度中に150件は達成できる見込みである。	A	ホームページ更新では、部活動記事の更新について、部ごとに更新数に差があり、顧問への意識啓発が今後の課題となった。